



ダム計画地点下流の上空から撮影

八鹿ダム諸元

ダ ム		貯 水 池	
河 川 名	円山川水系小佐川	集 水 面 積	4.41km ²
位 置	養父郡八鹿町石原地先	湛 水 面 積	0.058km ²
型 式	重力式コンクリートダム	総貯水容量	1,090,000m ³
堤体天端標高	EL.274.500m	有効貯水容量	950,000m ³
堤体基礎標高	EL.217.000m	洪水調節容量	360,000m ³
堤 高	57.50m	計画堆砂容量	140,000m ³
堤 頂 長	157.00m	常時満水位	EL.263.900m
堤 頂 幅	4.0m	サーチャージ水位	EL.271.000m
堤 体 積	106,000m ³	設計洪水位	EL.273.000m
放 流 設 備			
洪 水 吐 き			
常 用 洪 水 吐 き		基本高水流量	53m ³ /s
型 式	オリフィスによる自然調節	計画高水流量	25m ³ /s(ピーク流入時)
オリフィス断面	幅2.2m×高2.2m×1門	最大放流量	32m ³ /s(SWL)
非 常 用 洪 水 吐 き			
型 式	自由越流頂	低 水 放 流 設 備	
オリフィス断面	幅12.5m×高2.0m×2門	導水管φ600, JFGφ300	



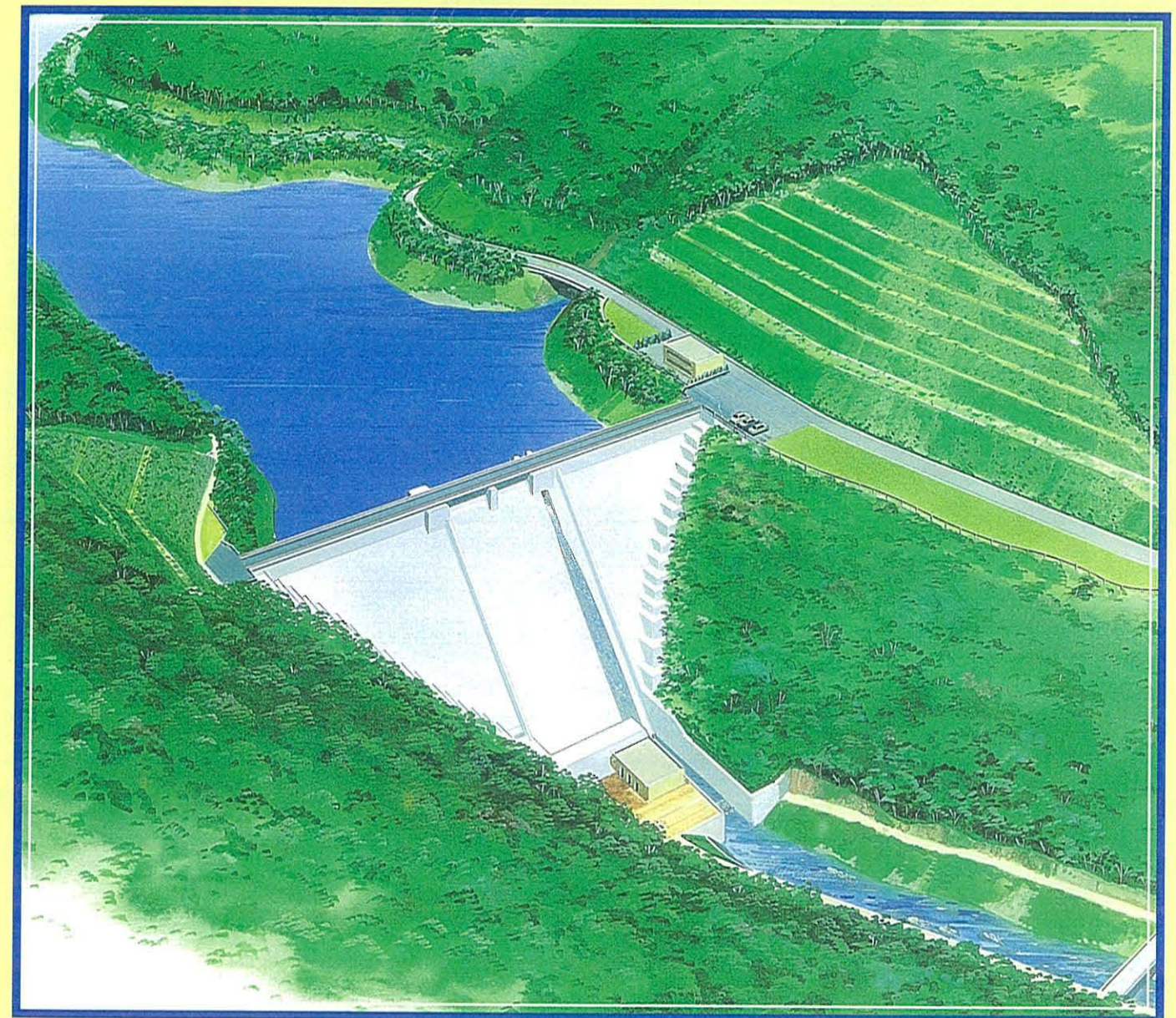
兵庫県 但馬県民局 県土整備部
八鹿土木事務所

〒667-0022
養父郡八鹿町下網場320
TEL.079-662-2126(代)



(愛称:ココロン)
“ココロ豊かな美しい兵庫”を
めざして

よう か
八鹿ダム



八鹿ダムは何のためにつくるの？

八鹿ダムは
私たちの暮らしを守る
水のとりで

八鹿ダムは、30年に1回の確率で起こる規模の洪水から、下流の小佐川沿川地域を守ります。下流の寺坂橋地点の洪水流量を250m³/sから220m³/sに低減させます。



八鹿ダムは
私たちの暮らしを豊かにする
水のオアシス

渇水時には、八鹿町の約8,000人の住民の水道用水として、また沿川の農地(約50ha)のかんがい用水や河川に棲む生物や植物のための維持用水などにダムの水が使われます。八鹿ダムは590,000m³の水を確保して渇水に備えます。

八鹿ダムはなぜ必要なの？

小佐川流域はこれまでに多くの洪水氾濫に見舞われてきました。

小佐川は急流のため過去多くの河岸の決壊や氾濫を繰り返してきました。特に、平成2年9月の秋雨前線・台風19号による総雨量は433mmに達し、その被害は八鹿町全域で44億円を超える大きな被害になりました。



平成2年9月 中村大井堰



平成2年9月 寺坂橋上流



削りとられた小佐川河岸(中村~九鹿)
〔但馬の災害史(兵庫県防災協会 南但・豊岡浜坂支部)〕

八鹿町はこれまでにしばしば水不足になり、人々は苦しんできました。

近年では、平成6年に降雨量が平年に比べ極端に少なくなり、県下のほぼ全域で渇水となりました。その中でも八鹿町では給水制限が実施されるなど、住民の生活に影響を与える深刻な渇水となりました。

51町で渇水対策 県まとめ

町	人口	渇水対策
池田	2,034	給水制限
水田	2,550	給水制限
川上	6,200	給水制限
川中	1,640	給水制限
川下	3,980	給水制限
川上	14,600	給水制限
川中	618	給水制限
川下	360	給水制限
川上	479	給水制限
川中	155	給水制限
川下	70	給水制限

八鹿町では、給水制限を実施し、渇水対策に取り組んでいます。

2地区で時間給水

山間の水田 白く乾く

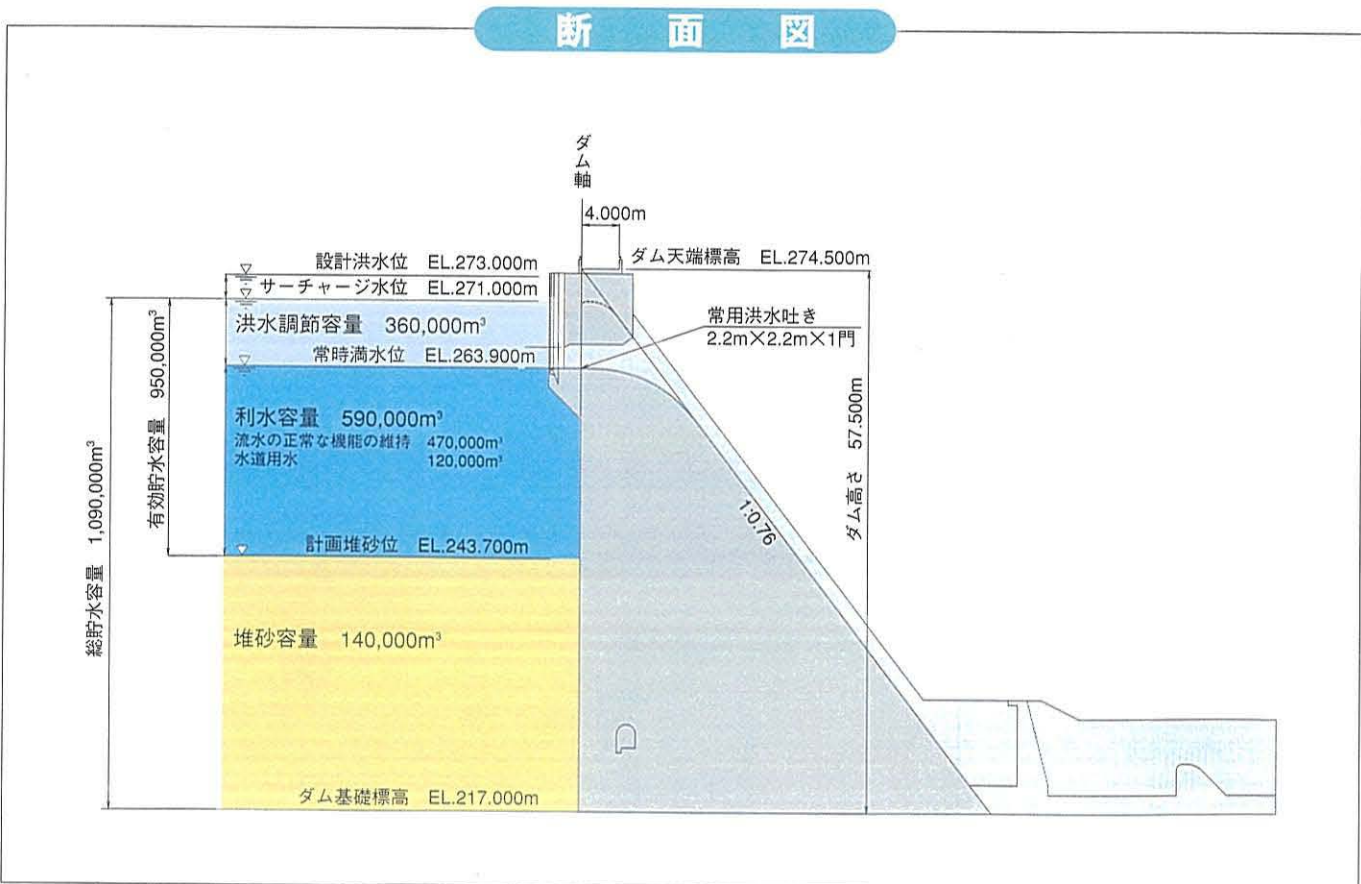
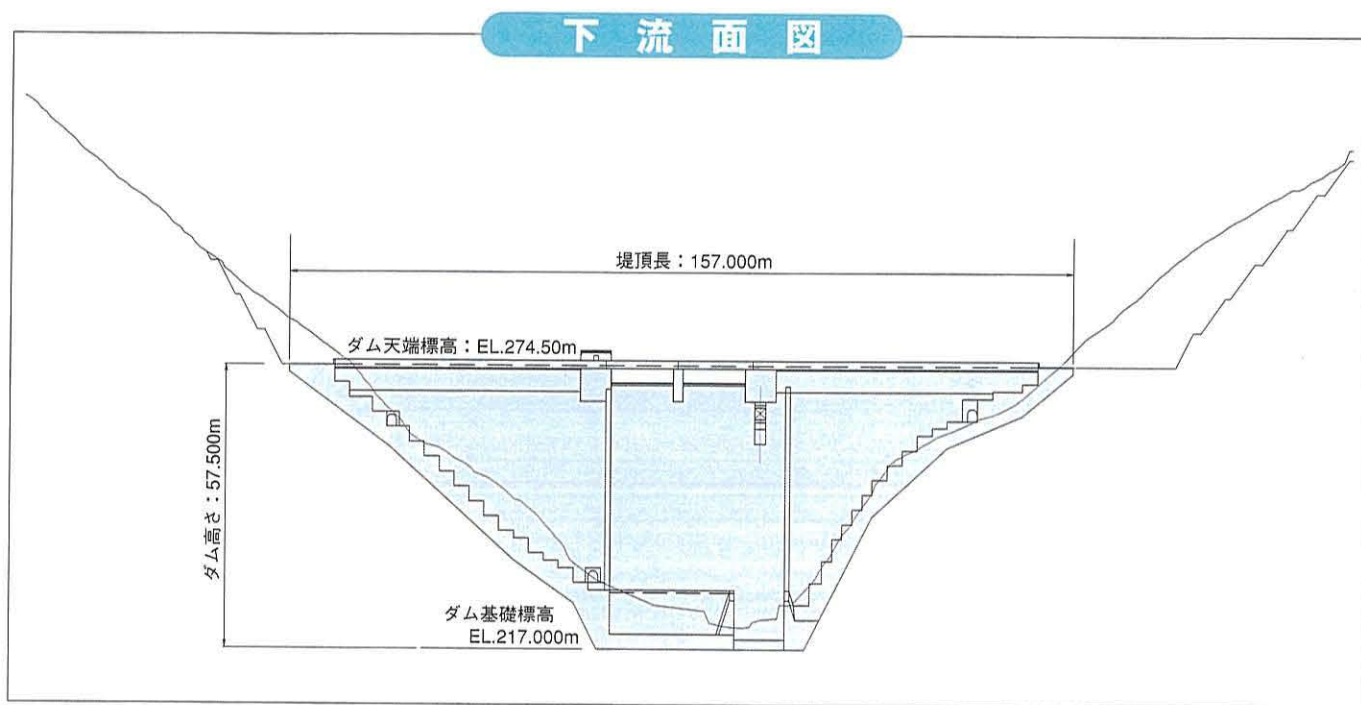
平成6年9月30日

きょう八鹿で雨どい 名神社

ようか 八鹿ダムってどんなダム？

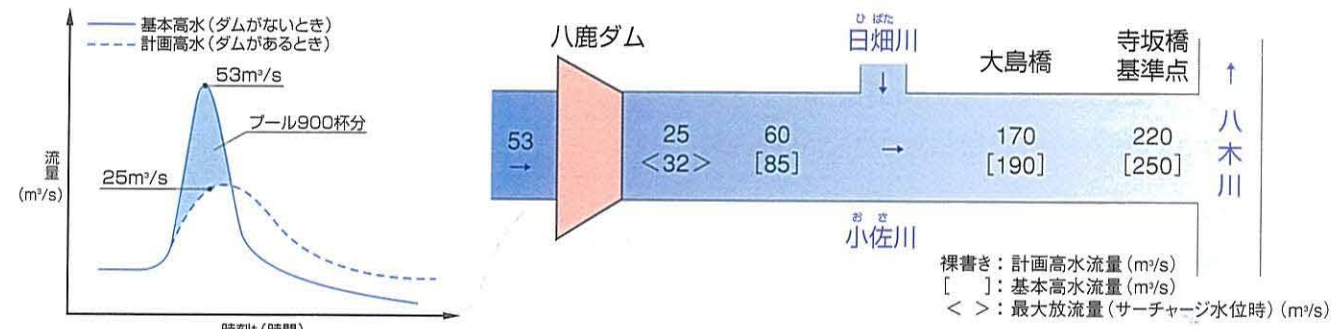
高さ57.5m。堤体積は約106,000m³。
とても頼もしいダムです。

八鹿ダムは重力式のコンクリートダム形式です。ダムの高さは57.5mで12～13階建てのビルに相当します。ダムの一番上での長さは157m、ダムの堤体積は約106,000m³です。



洪水の時にはプール900杯ぶんの水をため込むことができます。

八鹿ダムでは最大洪水の量53m³/sの流入のうち約半分(28m³/s)をダムに一時的に貯めこんで25m³/sの水を放流します。八鹿ダムは洪水を貯めるために必要な容量360,000m³(25mプールで900杯分に相当)を確保しています。



ダムから浄水場へ、そして各家庭へ。 水道水の安定した供給が可能に。

近年、八鹿町の水源地である大森第2水源と上綱場第1水源では取水量が減少しています。八鹿ダムが完成すれば、ダムは120,000m³の水道用水を蓄えるので、安定した水の供給が可能になります。



ようか 八鹿ダムのしくみを「蛇口」と「バケツ」にたとえると…。

洪水の場合には。

雨が降らない場合には。

真ん中に小さな穴のあいたバケツに水道から水をたくさん入れます。水道からはたくさん水が出ますが、穴からは少ししか水は出ません。そのかわり、バケツの中の水はどんどん増えます。

水道を止めると穴からは少しずつ水が出続けますが、やがて穴の高さまで水は減ると出なくなります。

このように、バケツ(ダム)がなければ、蛇口の下(ダムの下流)は水浸しになりますが、バケツ(ダム)が水をため込んでくれたおかげで、少しずつぬれるだけですみます。



次に、バケツの下の方に、もっと小さな穴をあけます。すると、蛇口からは水が出ていないのに、下の穴から少しずつ水が出ます。とても小さな穴なので、大変長い間水が出ます。

このように、バケツ(ダム)にためた水を少しずつ流すことによって、蛇口から水が出ていなくても、少しの水を流し続けることができます。つまり長い間雨が降らなくても、ためた水を少しずつ流して必要な水や、水道水を安定して流すことができます。

